

<http://www.e-meisei.net>

No. 58

発行 (社)愛知建築士会名古屋西支部

編集 広報渉外委員会

清須市西枇杷島町南六軒37 みのじの館内

TEL(052)502-0938 FAX(052)502-0939

印刷所 株式会社 ウエルオン TEL(052)732-2227

四間道

屋根神様

名古屋開府400年
名古屋西區名古屋市西区役所区民生活部 伊藤 祐二 主幹
(安心・安全で快適なまちづくりの企画)

1 西区役所のまちづくり

西区役所では、特色ある区づくりとして、「ものづくり」や「歴史的な町並み」を活かしたまちづくりに取り組んでいます。

ご存知のように、西区の南部地域は、名古屋扇子、名古屋友禅、和風などの伝統工芸から菓子、繊維、革工芸などの製造を始めとする「ものづくり」が盛んな地区です。

堀川沿いの美濃路、四間道には、商家、町人の土蔵、町家が今でも残り、独特の町並みを形成しています。また、区内には、美濃路を中心に屋根神様が最も多く残り、門前町として栄えた円頓寺商店街などとともに歴史と賑わいを感じることが出来ます。

こういった「ものづくり」や「歴史的な町並み」に関する地域の宝を発掘して地域の誇りとし、その宝を西区の内外に情報発信して、人の流れを呼び込み、まちの活性化を図るため、「ものづくり文化の道推進協議会」(前身

は「ものづくり文化の道検討部会」平成13年2月立ち上げ。) (以下「協議会」。)を立ち上げました。そこには、ものづくりの職人や企業、まちづくり団体や商店街関係者などが集まっています。

その協議会を中心として、平成14年度から、毎年7月最終水曜日からの5日間に行われる円頓寺商店街七夕まつり、毎年開催している西区民おまつり広場に、「ものづくり文化の館」を開館し、「ものづくり」や「歴史的な町並み」の魅力を西区民の皆様始め多くの皆様に情報発信して、まちの活性化に取り組んでいます。

また、平成21年度には、協議会を中心として「(株)ものづくり文化の道」を発足し、名古屋市交通局那古野営業所跡地に建設された名古屋プライムセントラル1階北側に開設した「ナゴノスペース」の運営をしています。

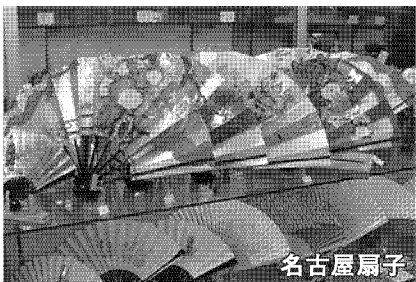
そこでは、情報発信拠点として、「ものづくり」等をテーマとして、人々が交流し、地域が賑わう展開に向けて、取り組んでいるところです。

2 名古屋開府400年に向けて

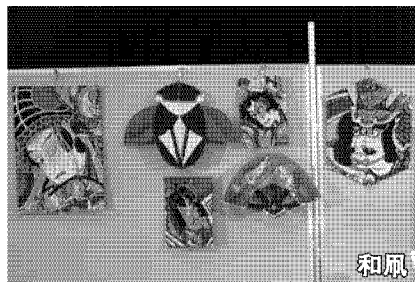
「めいせい57号」でもご紹介ありましたように、2010年は名古屋開府400年の年であり、「夢、つなごう」という事業展開のコンセプトのもと、市民・企業等の民間事業と連携をしながら、名古屋市内各地において、さまざまなイベントを展開する予定としています。

西区役所においても、美濃路を通して、清須にあった町がそっくり移った「清須越」が行われ、名古屋の城下町が形成されたことなどを踏まえ、「ものづくり」や「歴史的な町並み」に関する地域の宝を活かしたイベントの企画や、名古屋まつりに合わせて実施される「清須越夢歩き」を意識したイベントの企画などを検討しています。

西区の皆様のみならず、区外の皆様にも西区が企画しているイベントを始めとした様々な名古屋市のイベントに、是非、参加していただきたいと思っています。詳しいイベント情報などについては、広報ごや、西区ホームページなどに掲載していく予定ですので、よろしくお願いします。



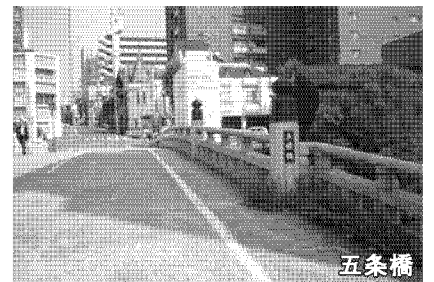
名古屋扇子



和風



名古屋友禅



五条橋

福祉・教育・文化の拠点
として西区役所 総務課
安田 明

平成19年10月から建設を進めてきました「西区役所等複合施設」が完成し、今年の1月12日(火)から新施設で業務を開始しています。

この施設は、区役所と保健所、在宅サービスセンターを一体的に整備することにより福祉部門の連携が強化されることに加え、既存の図書館、文化小劇場とともに、この地区が福祉・教育・文化の拠点になると思います。

また、南側は花の木公園に面してガラス壁面の吹き抜け空間を配置することにより公園との一体性を持たせ、明るく開かれたつくりになりました。

玄関部分に西区の魅力発信や交流の場としての「も～やっこ(共同で、持ち合う、分け合う)広場」を設けるとともに、どなたにでも利用しやすいユニバーサル設計を取り入れたことや、太陽光発電、雨水再利用、屋上・壁面緑化など、人や環境にやさしい施設となっています。この施設により、西区が一層元気で住みよい町となるでしょう。



新庁舎外観



アトリウム

敷地面積 6,911.36㎡
建築面積 2,716.29㎡
延床面積 11,761.62㎡
区役所 8,199.64㎡
保健所 2,823.52㎡
在宅サービスセンター 738.46㎡

施設の概要
構造規模 鉄骨鉄筋コンクリート造
地下1階、地上5階建
講堂 定員400名
駐車場 地上及び地下1階
地上59台 地下48台
合計107台

■各階のご案内(22.4.1)

5F	保健所(事務部門)、在宅サービスセンター
4F	保健所(診療部門)
3F	区役所(総務部、まちづくり推進室)
2F	区役所(民生子ども課、講堂、食堂、銀行)
1F	区役所(市民課、保険年金課、福祉課、ささしま税事務所西区税務窓口、情報コーナー、も～やっこ広場)
B1F	駐車場

※22年4月1日から、市税に関する事務は、ささしま市税事務所で
行います。電話 588-8000

特許第2920229
special patent
こりゃいいワン!
特許技術による
ペットにとって優しい床

“うづくり
杉フローリング” こりゃいいワン!
床暖房対応“検” たまらんニャー!
フローリング
“光触媒” 断壁板 におワン・ニャー
有限会社 ジー・エヌ・エヌ
<http://www.gnn-yuka.com>
〒452-0902 愛知県清須市助七東山中71
【TEL】052-401-1380 【FAX】052-401-4345

住宅リフォーム・リニューアル工事、耐震補強工事
集合住宅・ビル・マンション・一般住宅・倉庫・工場・営業店舗

豊かな環境を創造する

テレビ愛知毎週土曜PM6:30
「ホトチャンネル」CM提供中

株式会社 ムラテ

URL <http://www.murate.com/>〒453-0861 名古屋市中村区岩塚本通1-51 TEL052-411-8111 FAX052-413-1036
津島(営) TEL 0567-31-0780 名岐(営) TEL052-400-1291

美濃路ウォッチング

最優秀賞

一般の部
今昔の夢紡ぎ足す走り梅
中学生の部
オリオン座君は見てたの清須越
小学生の部
五条川時は流れる冬の空

「清須越400年」を詠む俳句大会 表彰式開催

臼井 鑑造

平成22年3月20日(土)清州市民センター2階会議室において、表彰式が開催されました。

平成21年度愛知地域貢献活動センター助成事業として「枇杷島みのじ会」が助成団体となり、美濃路まちづくり推進協議会が共催したものです。同じ体制で、2年前、同センター助成事業として「歩いて楽しい「歴史街道美濃路」」俳句・写真展を開催しており、今回で2度目、助成額が満額となりました。

2月20日～27日にかけて審査が行われ、入賞者が決定しま

した。応募者数は総数1605名、投稿句数は3313句と膨大な数となりました。清須市の中学校4校、小学校8校全ての小中学校が参加し、1469名が2932を句投稿しました。清須市は今年、清須越400年を迎え、記念イベントを計画しており、この俳句大会をそのイベントと位置づけ、全面的に協力していただきました。名古屋市の小中学校では西区中区の中学校2校、小学校5校に参加依頼し、中学校1校、小学校4校の応募があり、88名から195句の作品が寄せられました。また、一般からは48名、186句の応募がありました。

表彰式には親子や、3世代そろって出席された方もおり、

用意したテーブルも不足気味で盛大に開催されました。清須市からは市長の代理として、企画政策課長、飯田浩視氏が挨拶と、清須市長賞の授与を行いました。テーマが俳句には馴染まない歴史の事実にもかかわらず、たくさんの魅力ある作品が生み出され、講評でも後藤氏から個々の作品について高い評価が述べられました。大会の成功には、清須市企画政策課大沼賀敬氏の絶大なるご協力がありました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。



みのじ会飛騨古川街並み保存 見学会

中島 鐘重

2月28日、「枇杷島みのじ会と美濃路まちづくり推進協議会」合同で飛騨市古川町の街並み保存の見学に参加しました。

当日昨夜来の雨が降っていましたが、午前中に晴れるだろうの天気予報通り、古川に向かう途中郡上八幡回りから晴天になり快適な見学会になりました。午前8時半名鉄二ツ杵駅前に集合、25名の参加者を乗せたバスで、目的

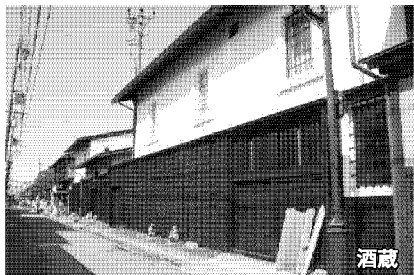
地飛騨古川市役所駐車場に11時一寸過ぎに到着。先ず直ぐ目の前の「古川祭り会館」を見学、古川町の祭り山



八つ三館全景

車の実物と、祭りの様子を今時流行りの3D立体映像で体験。会館から昼食場所の「八つ三館」へ向いながら散策、街並み保存のメイン場所「壺之町通り」を見学。当地方屈指の大寺院「本光寺」前から、宮川の支流荒城川に架かる鉄橋を渡ると、左側橋詰めに八つ三館の広大な建物が展開する。

八つ三館は江戸末期創業、この辺りでは屈指の老舗料理旅館で有名。玄関部分の旧館は、有形建造物文化財に指定された明治～大正期の建物、当時の面影が随所に残されて、大切に使われている様子が見える。12時半過ぎから約1時間の会席料理のもてなしを受けた後、当館のご主人解説による館内を隈なく見学させて頂く。



館内見学後自由散策で再度壺之町通～瀬戸川用水路沿いなどを見学、駐車場に戻り16時帰路につく。東海北陸自動車道白鳥IC手前で事故があり渋滞。予定より2時間遅れの20時20分二ツ杵駅前に無事到着解散。

古川の街並み保存見学には10回近く出かけておりますが、年々街並みの整備が進み変化して来ました。しかし何処の街並み保存も同じようで、観光重点でなく生活臭を前に出した自然体の保存方法に考慮しないと、イベントが有る時は大勢の観光客が押し寄せてきますが、平素はリピーターや観光客の数がなくなり、本当の街並み保存になるよう一考をする必要があります。何れにしても一日楽しく過ごさせていただきました。



第2回 研修勉強会

牧野 正

1月29日(金)、中区錦にあるINAX名古屋SRセミナールームにて、名古屋西支部主催の「木造耐震診断と補強方法」についての研修勉強会が開催されました。

当日は、JR東海道新幹線が停電の為、40本以上が運休となるトラブルが起きた日であり、なんと予定されていた講師が東京から来名できなくなるというハプニングがおこりました。

講師が不在の研修勉強会は、当初どうなる事かと心配されましたが、西支部の諸先輩方が急遽臨時講師となり、豊富な経験を基に耐震についての注意事項や詳しい説明をしてくださいました。多くの事例を紹介しながらのスライド画像を用いた説明や裁判事例等は、とても分かりやすく

興味深いものでありました。とても臨時とは思えない内容であり、有意義な研修勉強会となりました。

今回のテーマである耐震診断、耐震改修は、昨今の建築業界にとってリアルタイムなテーマであり、当研修勉強会がすぐに定員締切となり、さらに他支部からの参加が多かった事からも関心の高さが伺えます。私も最近、耐震改修についての質問を受ける機会が多くなってきています。今後も耐震についての研修勉強会を是非また企画していただきたいと思います。



第2回 研修見学会「名古屋クロイノンスクエア」(安藤七宝店)を見学して来ました山本 とし

春は名のみでまだまだ寒い平成22年3月20日研修見学会に参加しました。

大型ビルが建ち並ぶ大津通りに、見逃してしまいがちな小さな間口のエンタランスがあり、その路地を入った奥に凛とした佇まいでお宝が鎮座している一角が安藤七宝店です。

繁華街の喧騒も消え、おおよそ都会の中心にあるとは思えない程の静かで落ち着いた空間が、緊張感と共に体感できます。旧庭の石畳を利用しそれを小端立てに使用して、



中庭

玉石と芝生でアレンジした中庭は「さざ波」を表現しているようで、この庭を中心に蔵ギャラリー・七宝ショップ・レストラン(クラッセ)・テナントと結ばれています。建築賞の受賞も多数あり、

大正期に建てられた蔵と新しい建築がマッチして機能を発揮しています。七宝の作品も創業明治13年の重みが物語っていますが、日本の美術工芸の花形と称されるように洗練されています。蔵の中で作業工程の説明を受けましたが、さまざまな手法があり長い歴史のページを捲るような感じがしました。七宝とは光を受けて輝く様が、七種の宝石に例えられる事から命名されたそうです。季節の行事や花のモチーフがいっぱいで、古代柄・和柄・現代柄どれを見ても心が華やき、私も一つ購入してしまいました。

自由解散の後、「セントライズ栄」にも行ってみました。ここは安藤忠雄と三菱地所のプロジェクトビルで、無料おかしカフェ&ソニーのブランド拠点です。「播磨屋ステーション」へはオープン以来の長蛇の列が今も続いておりました。

季節毎に七宝の「色変わり銘々皿」に和菓子を並べて楽しみたいと思った見学会でした。

名古屋西支部創立20周年 記念式典・懇親会開催のご案内

平成2年9月、初代馬場支部長の下で名古屋西支部が発足して、本年、創立20周年を迎えます。昨年11月の名古屋6支部創立20周年記念事業に続いて、名古屋西支部の記念事業として、下記により記念式典及び懇親会を開催いたします。また、今秋には記念研修見学会及び創立20周年記念号として「めいせい第60号」を発刊します。多数のご参加をお願いいたします。

記

日 時：平成22年4月21日(水)
午後6時30分～8時30分
場 所：ホテルサンルートプラザ名古屋
催 事：① 記念式典 ② 功労者表彰
③ 弦楽アンサンブル演奏 他

平成22年度 支部通常総会のご案内

日 時 平成22年4月21日(水)
午後5時30分より(受付5時より)
場 所 ホテルサンルートプラザ名古屋
中村区名駅2-35-24 TEL 571-2221
支部創立20周年記念式典・懇親会
午後6時30分より(会費5,000円)

青年部総会は同場所に於いて
午後4時45分より行います。
(受付4時30分より)

※つきましては、返信用ハガキにて4月13日(火)までに必ず出欠のご回答をお知らせいただき、欠席の場合は委任状欄に記名・押印くださるようご協力ください。

百瀬測量登記事務所

土地建物の測量・調査・登記申請

〒452-0044 清須市西枇杷島町南六軒13番地 TEL(052)501-5686

(みのじの館より東へ徒歩1分) FAX(052)501-5689

土地家屋調査士 百瀬 静
土地家屋調査士 百瀬 真代

「会費納入方法の変更」手続きのお願い

選択通知書及び口座振替依頼書の提出にご協力をお願いします。

「会費納入方法の変更」手続きについてお願いしておりますが、選択通知書及び口座振替依頼書をまだ提出されていない方は、早急に本会まで必要事項を記入の上、返信くださるようお願いいたします。

学生のコーナー

思いをこめて

愛知産業大学造形学研究所
研究員/NPO法人まちの縁側
育くみ隊スタッフ
名畑 恵



名駅と栄の間、長者町通りにあるまちづくり交流拠点「錦二丁目まちの会所」(H20年5月にオープン)の運営に携わり2年が経とうという今、「若者の志を」とのお話をいただいた。研究員といっても「生業は?」と問われれば閉口(なんとかやっていますが!)、「漂流する現代若者」の代表ではないか…いや、現代若者の漂流が「人間関係不在の精神的不安定さ」に起因するとすれば、私の居場所はその対極にある。長者町は都心にあってもぽっかりと穴があいたように、人間関

係の網に守られた懐かしさがある。まちの会所は問屋を改装したビルの2Fにあり、1Fはパン屋、上階に写真スタジオ・デザイン・広告企画等異業種が混ざり合い、それぞれの空間を通り抜けないと上階には行けないつくり。いわばゆるやかにつながりあう立体長屋。まちの会所を含めいつも夜中までしごとをし、煌々と明るいこのビルに、まちの若手経営者の一人が飲み会の後に吸い寄せられるように立ち寄る。まちの祭りのあり方について議論。のちになぜか私の愛読小説を朗読してもらい、思わぬ名調子ぶりにうっとり。定期的に朗読会を開こう、の流れに。これぞ都心ならではの「まちの縁側」!!

まちの会所で、まちに暮らす人・専門家・NPO・学生など多様な主体をまきこみ進めているマスタープラン策定という体系的取り組みと、小さな物語とを結ぶ重要な役目を、「志」をもった漂流的しなやかさでとりくんでいきたい。

他にも今年夏のあいちトリエンナーレをはじめとした、様々な物語で色づきはじめた長者町が、みなさんにも偶然の出会いと物語の連鎖をもたらし、包容力の増していくまちになるよう思いをこめて…。



私のおすすめ
徳力 真治
おすすめというわけではないのですが、普段使っているもので、こだわっているものに文房具があります。常に持ち歩いているものは、ぺんてるの0.3mmのシャープペンです。軽くて使いやすいので、同じものを2本も持っています。それとセットで左ポケットに消しゴムが必ず入っています。

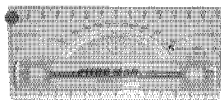
最近気に入って使っているのが、「消せるボールペン」です。PILOTの「フリクションボール」という商品で、熱で無色になるインクになっており、ペンのゴムにな

っている部分でこすると、摩擦熱で書いた文字が消えるのです。

他にも平行線が簡単にかける「ピッチマンmini」という定規は、必需品です。似たような商品は見かけますが、今では生産中止になっており、もし売っているのを見つけたら大人買いしてしまいそうです。

先日、パースの講習を受ける機会がありまして、そのときに、鉛筆のすばらしさを再認識しました。シャープペンでは一定の太さの線しかかけませんが、鉛筆は、削り方や傾き加減で線に表情が現れます。プランを考えているときも、鉛筆の線の中からだからこそ見えてくるものやアイデアもあると思います。

最近はCADで何でも描いてしまいがちですが、手描きの味を出せるように、練習をしていかないといけないなと思いました。



名古屋西支部青年部研修見学会「名古屋の旧街道四間道散策研修」を終えて

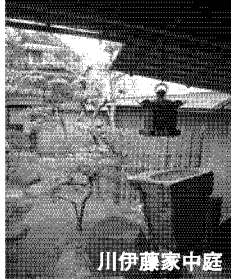
名古屋西支部青年部研修委員長 原 英光

3月13日(土)、碧南支部と名古屋西支部青年部との合同開催による四間道の散策見学会を開催しました。碧南支部より13名、名古屋西支部より7名で計20



名の方々に参加していただきました。那古野一丁目まちづくり研究会の川原茂樹さんと名古屋西支部の白井鏡造さんのおふたりに案内していただき、二時間ほどかけて四間道・円頓寺界隈を町歩きしました。このあたりは何度か散策した経験があったのでだいたいは把握しているつもりでしたが、恥かしながら案内していただいた18箇所のうち半分は初め知るところでした。また存在は知っていたところでも新たな発見があるものばかりでした。今回まわったコースは次のとおりです。

①国際センターの中の小島町遺跡→②旧家中村家と屋根神さま可睡斎→③復明館・水谷医院跡→④真宗高田派名古屋別院専修寺(御本坊)→⑤貞松院屋敷跡→⑥伊藤萬蔵自宅跡→⑦西公設跡→⑧五条橋・擬宝珠・屋根神さま・公共物場跡→⑨美濃路→⑩川伊藤家→⑪円頓寺→⑫金刀比羅神社→⑬慶栄寺→⑭子守地藏尊→⑮屋根神さま→⑯名エングレブ・青木家→⑰浅間神社→⑱四間道



この四間道・円頓寺界隈は市や地元の団体のかたによる、史跡の説明の記された表札がいたるところにあり町歩きするには最良のところだと思います。これからの気持ちのいい季節、身近な町の魅力を再発見しに出掛けてみてはいかがでしょうか。

木と建築を学ぶ「木塾(ぼくじゅく)」について

名古屋西支部常議員・本会木塾特別委員会 岡島 直樹

「木と建築を学ぶ・木塾」が開講され、今年で2年目を迎えました。建築士会において木造を学ぶ講座は、長野、岐阜、三重、山口などの単位建築士会でもすでに行われていました。木造建築をし



っかり学べる場が少ないとの問題意識を持つ有志が集まり、愛知建築士会でも各県との意見交換も踏まえて開講しました。初年度は木造建築の歴史から構造の可能性を慶応大学教授の坂本功先生より、木造の防耐火といった専門的な内容を早稲田大学客員研究員の安井昇先生から学ぶとともに、木造の住まいづくりの思想を「住まい塾」主催の高橋修一先生より学ぶという幅広い学習の場となりました。

今年度は6回の講座の構成で、木造の「住まい」を中心として、木の特性や構造を名古屋大学名誉教授の平嶋義彦先生、伝統民家を通した木造建築の可能性を金沢工業大学名誉教授の鈴木有先生から学んでいます。また現地学習として奥三河の木材産地に行き、伐採や流通の様子、実際の家を見学しました。

木塾では理念を「個性の発露と無限の表現」とし、塾則や塾心得なども定め、受身の研修でなく、塾生それぞれが参画するように求めています。講義では塾生からの積極的な発言や、塾生によるパネルディスカッションも行われており、従来型の研修とは一線を画しています。

現在、スタッフは来年度に向けて検討しています。来年度はいよいよ実務に繋がる実践講座を展開する予定です。支部の皆さんも是非ご参加ください。

名古屋西支部 新入会員紹介

H22. 3. 3

地区	氏名	生年	自宅住所
西	桐本 明	S44	〒451-0013 名古屋市西区江向町三丁目48 コーポ・シズ201号
西	荒木 秀人	S45	〒452-0821 名古屋市西区小田井1-199
中村	辻村 祥之	S32	〒467-0027 名古屋市瑞穂区田辺通6-13-2-301
中村	秋山 一善	S30	〒464-0096 名古屋市千種区下方町4丁目34番3
西	伊藤 潤	S58	〒452-0804 名古屋市西区坂井戸町219 サニーサイドハウス2B
中村	小泉 範昌	S52	〒453-0856 名古屋市中村区並木2-92 リヴェースはった101
中村	中村 雅一	S43	〒453-0055 名古屋市中村区香取町1-8 ガーデンハイツ中村5B号室

国土交通省大臣認定

SMD杭
スーパーミニドリル

回転貫入鋼管杭工法

造園・外構工事
公共工事
地質調査・地盤改良
SMD杭製造・販売
石材加工・販売

建築技術性能証明工法

HITSコラム

スラリー系機械攪拌式
深層混合処理工法

〒461-0048 名古屋市東区矢田南三丁目13番7号
TEL: 052-722-3000 FAX: 052-722-8311
E-mail: info@honjin.co URL: http://www.honjin.co

株式会社 本陣

機能やメンテナンス性に加えて、デザインにこだわるなら

こだわりのクオリティ、サンゲツのカーベットタイル

2006-2009 カーベットタイル グラフィック
2006-2009 カーベットタイル フレーン

SANGETSU <http://www.sangetsu.co.jp> 本社/名古屋店 TEL:052-564-3111 名古屋ショールーム TEL:052-564-3225

Hyper MEGA
(プレボーリング系高支持力工法)

Hyper NAKSII
(中掘系高支持力工法)

日本コンクリート工業株式会社
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

Total Media Support

WELL ON 株式会社 ウェルオン

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目21番31号
TEL 052-732-2227 FAX 052-733-3178
URL <http://www.well-on.co.jp/>

16190101(02)
JISQ15001:2006準拠

建築基準法解説シリーズ

令第46条の解説

解説担当 馬場 富雄

「めいせい」第57号では、風圧力で筋かいに加わる力についてお話をしましたが、今回はその風圧力を割増して考える条件について説明を致します。まず例によって条文を掲げます。

第46条

第1項

第2項

第3項

第4項 → 文章一部省略

かつ、その階（その階より上の階がある場合においては、当該上の階を含む。）の見付面積（張り間方向又はけた行方向の鉛直投影面積をいう。以下同じ。）からその階の床面からの高さが1.35m以下の部分の見付面積を減じたものに次の表3に掲げる数値を乗じて得た数値以上となるように、国土交通大臣が定める基準に従って設置しなければならない。

表1・表2 省略

表3

	区 域	見付面積に乘ずる数値 (単位cm/m ²)
(1)	特定行政庁がその地方における過去の風の記録を考慮してしばしば強い風が吹くと認めて規則で指定する区域	50を超え、75以下の範囲内において特定行政庁がその地方における風の状況に応じて規則で定める数値
(2)	(1)に掲げる区域以外の区域	50

上に掲げる条文を見て下さい。表3で通常は風圧見付面積1m²につき壁長50cm必要となっていますが特定行政庁が特に指定した区域については壁長の割増を要求しています。ではこの指定された区域外なら、いかなる場合でも壁長50cmでよいのかといいますと、そうではないのです。規制は実に巧妙になっています。すなわち建設省告示1454号（平成12年5月31日）の第1の中の2に「ただし局所的な地形や他物の影響により平均風速が割増されるおそれのある場所においては、その影響を考慮しなければならない」と書いてあり

図1

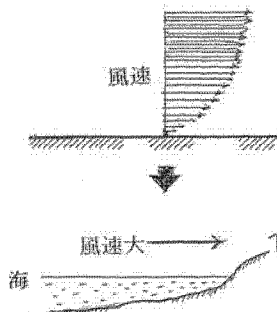


図3

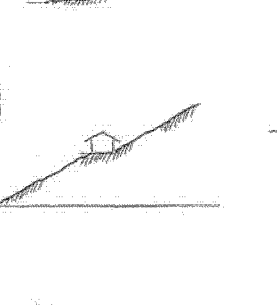


図2

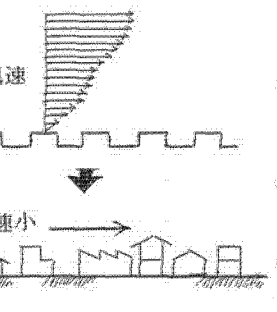
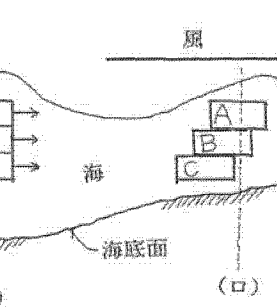


図4



ます。私たちは、こんなことを言われても全く困るのです。それはどんな場所かということがなにも書いてありません。もし風力による何かの事故が発生した場合、国交省の担当官は「注意するように書いておいたのに注意しなかったのがいけない」とおっしゃるかもしれません。そこで今回は風圧力に対して、その割増を考慮しておいたほうがよい場合を若干解説してみたいと思います。

「その1」 海、川等に面している場合

一般に大量の空気が移動する速さを風速といいます。この風速によって風圧力が建物に加わるため、我々建築士は耐風設計をしているのです。さてこの風速は地表面より高いほど大きく、地表面に近くなるほど地表面での摩擦の影響を受け小さくなります。しかし地表面の状態での摩擦の影響が異なり凹凸があるほど摩擦が大きくなり風速は小さくなります。凹凸がなく、たとえば水面のような場合は摩擦が少なく風速はそんなに小さくならないのです（図1参照）。従って海、川等に面している場合は通常の必要壁量50を75まで上げておくのがよいと思います。

「その2」 崖地又は山頂の所へ建てる場合

先の「その1」で説明しましたように風速は地上より高くなるほど大きくなる性質をもっていますので、崖地とか山頂の部分は地上より高い部分の風が直接あたることになります（図2参照）。やはり壁量の割増を考慮するのが適切だと思います。

「その3」 建物が山や丘の中腹にある場合（図3参照）

この場合は地面が傾斜しているのですから、「その1」「その2」のように簡単には説明ができません。そこでここでは、まず空気を液体に置き換えて説明することに致します。まず液体の状態を海と考えると説明します。海に於ける表面の波は主に海上に発達する風によっておこります。そして、その波形は我々が目で観察することが可能です。図4を見て下さい。沖の方で発達した波が陸地に向かって進んでいるものと仮定します。（イ）の状態は水深も深く波の移動に邪魔する物は何もありませんから波の形は図示のようになります。しかし波が移動して（ロ）の所まで来ると、海はどんどん浅くなり波を構成している部分の下の方が海底面に接近するようになります。この場合、波の下部Cが海底面との摩擦によって波速のスピードがだんだんと失速してきます。そのためにA、Bの部分が前のめりに進みます（波形図参照）。そして（ハ）の部分に波が進んだとき、Cの部分はほとんど動かなくなり、Bもそれによって失速しますのでAの部分だけ勢いよく飛出し、その重量を支持するB、Cがありませんので地上へ落下するのです（波形図参照）。このときの落下音を我々は「ザブーン」と言っています。この現象でもう一つ大事なことがあります。それはその時に波の移動スピードが、かなり大きくなることです。このことについて今回解説している風速の話と共に地震波についても大変関係がありますので次回は、その理由を詳しく説明することにします。風速、地震力の増大は、耐風、耐震設計を考える上でとても大事な条件になるのです。

春夏秋冬

今年は何かと「エコ」がもてはやされており、我々建築業界だけでなく、各業界でも重要なテーマとなっている。「エコ」でなければ世間に受け入れられない、生き残っていけないくらいの状況。資源枯渇や地球温暖化はずいぶん前から言われているが、やっと身近な生活の中にもその意識が根づいてきたような感じがして、いいことだと思う。当然一時的なブームで終わってはいけませんが、今後景気が良くなったりすると、「エコ」が忘れられて元に戻ってしまわないか…という不安も。オリンピックの競技施設ですら屋上緑化などの環境対策を行う時代、テレビCMではないが、「明日のために、今できること」を1つでも多く実行し、続けることが、今生きる我々に課せられた責務ではないだろうか。後世、「あの時代の奴らのせいで地球が住みにくくなった」などと言われることがないように。

奥出 健夫

編集後記

平成22年度は、会費納入方法の変更、専攻建築士制度、CPD制度の影響で、「会員数が激減する年になるのでは…」と、危ぶまれています。特にCPDにおいては、メリットが見えにくく、相変わらず高い講習会参加費に不満の声が残っています。又、新規資格取得者への有効な入会アプローチについて検討が必要です。入会すると「こんなにお得」をもっとアピールし、会員数の確保に努力しましょう。

森 登

BX
文化シヤッター

引く

押す

ユニバーサルデザイン

引いても
押しても
開く、快適ドアです。

環境配慮自由開き折れ戸
ヒクオス

文化シヤッター株式会社
中部支社 営業開発部

愛知県名古屋市中区東1-9-22
名古屋BXビル8階 〒461-0001
電話 052-955-2231
FAX 052-955-2551
<http://www.bunka-s.co.jp>

超高強度軽量コンクリート製OAフロア
ネットワークフロア29/40

10年保証製品

人と社会に快適テクノロジー
共同カイトック株式会社

（中部FS営業所） 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-24-8 TEL (052) 581-0204

平成20年度
1級建築士
設計製図試験

合格者
占有率
No.1

愛知県の合格者の7割以上は、当学院の受講生でした。

愛知県合格者
261名中
当学院合格者
185名

70.9%

確かな実績に基づく指導ノウハウで合格に導きます

建築士・宅建

WEB SITE RENEWAL OPEN!

いままじ！ウェブ検索
最新情報！検索
www.shikaku.co.jp

名古屋校/TEL 052-202-1751 岐阜校/TEL 058-277-3701
小牧校/TEL 0568-42-1211 津校/TEL 059-238-0711
岡崎校/TEL 0564-57-8161 四日市校/TEL 059-359-0711
豊橋校/TEL 0532-57-0311